

◆ カナダの有名人③

カナダの「イケメン」首相

「政治家」といえば、どんなイメージを思い浮かべますか？世界の国々のリーダーには年配の男性が多いように思いますが、カナダの首相はちょっと違います。

ジャスティン・トルドーは2015年の選挙で、カナダの首相になりました。当時のジャスティンは43歳で、政治家としては非常に若かったです。ジャスティンの父はピエール・トルドー、カナダの最もポピュラーな首相経験者の一人です。しかし、子供の頃のジャスティンは、全く政治に興味がなかったそうです。英文学を専攻し、大学を卒業した後、ジャスティンはバンクーバーで教師として勤めていました。一時、ボクサーにもなったことがありました。

変化があったのは、父ピエールのお葬式でした。弔辞を述べたジャスティンは、初めて一般民衆や政治家の前でスピーチを披露しました。その弔辞があまりにも印象的だったため、ジャスティンは一躍有名人になりました。その後、ジャスティンはカナダの自由党に入党し、2013年から党首を務め、父の足跡を追うようになりました。

ジャスティンは今年で在任7年目になります。性的マイノリティの権利にも理解が深く、カナダで初めて性的マイノリティの一大パレードである「プライドパレード」に参加した首相として有名です。2020年には、コロナ禍で収入や仕事を失った人を対象にした経済的支援制度CERB（カナダ緊急対応給付金）を設けました。最初は「イケメン首相」だけで有名になったジャスティン・トルドーですが、これまで様々な実績を残し、現在も活躍を続けています。

